

公的医療保険制度を題材としたモデル授業②（案）（1時間目）

○授業の目標

- ・人生には様々なリスクが潜んでいることを理解する。
- ・社会保障がリスクに対して国民全体で支え合う制度であることを理解する。
- ・各自が必要と考える社会保障制度について考えを整理し、意見を構築する。

指導過程	学習内容	学習活動	学習支援 (指導上の留意点)	資料など	教材
導入 ① (10分)	・社会保障全体について考える。	・社会保障制度の全体像について考えてみよう。	<p>社会保障制度の全体像について考えてみよう。</p> <p>・一生の間にどのような社会保障を受ける可能性があるかを各自で考えてみる。</p> <p>【理解してほしい内容】</p> <p>・私たちの安定した生活に欠かせない社会保障制度。日々の「安心」の確保や生活の「安定」を図るための制度であり、一生を通じてわたしたちの生活を支える役割を担っている。</p> <p>・日本の社会保障制度には社会保険（◇医療・年金・介護等）に加え、社会福祉（☆児童手当、障害福祉サービス等）、公的扶助（○生活保護等）、公衆衛生（□感染症対策・保健事業等）がある。</p> <p>・社会保険は、人々が生活のリスクを分かち合うため、法律で対象者を定め加入を義務づけている。保険料の金額は原則、賃金などの拠出能力に応じて決まる。（必要な保険料を拠出していないと必要な時にサービスを受けることができない。低所得者には保険</p>	私たちの生活と社会保障	<p>・オープンクエスション 社会保障制度が存在しなかった場合、私たちの生活はどういったものになるかを考える。</p> <p>・ワークシート形式 ライフイベントごとに対応する社会保障制度を穴埋め形式で学ぶ。</p> <p>・外部講師の活用 年の近い卒業生（出産、子育て、医療、介護で社会保障を享受した体験を話してもらう。）、各国の大使館（各国の社会保障制度について聞く。）</p>

			料の減免を実施。)		へのインタビュー。 ・映画の視聴 社会保障全般を題材に扱った「家族を想うとき」や、アメリカの医療保険制度について扱った「シッコ」等の映画を視聴する。
導入 ② (15分)	・公的医療保険制度の仕組み	・健康保険被保険者証（保険証）の役割から、医療保険の仕組みを知ろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・保険証を示すことで、国民誰もが原則3割自己負担で医療を受けられること、保険料をプールしている仕組みなどの知識を整理させる。 ・原則3割自己負担であることに加え、高額な医療費がかかった場合でも、上限を定めて現実的な負担で済むこと、高額療養費の自己負担以外の部分は保険財政で負担していることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公的医療保険の仕組み https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iryohoken/iryohoken01/index.html https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/000688664.pdf 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート形式 窓口で保険証を提示した場合支払う金額は。 ①突然高熱が出たあなた。近くの病院の内科でインフルエンザB型と診断され、薬も含めて治療代は全部で1万円になった。 ② マラソン中に転倒し大腿骨骨折の大ケガ。手術をして1ヶ月入院。治療代

					は全部で150万円になった。
展開① (5分)	・医療サービスを受けること	・医療機関にかかった時のことを思い出してみよう。窓口でお金を支払って受け取った領収書や診療明細書からどんなことが分かるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・診療内容と費用という答えがでたら、1点10円でいくら医療費がかかったかを確認させる。実感よりも医療費が高いことに気づかせる。 ・自己負担額と保険給付額について意識させ、「保険給付」がどこから出ているかを問う。 		・領収書、診療明細書
展開② (10分)	・公的医療保険の意義	・公的医療保険と民間保険の特徴について理解した上で、「公的医療保険制度」がなく、「民間保険」のみ存在する場合とどういった問題が生じるか考えることで、公的医療保険の意義について理解しよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・公的医療保険と民間医療保険の特徴について、表や民間保険会社の年齢別月額保険料表などを示しながら、説明する。 ・その上で、「公的医療保険」がなく、「民間保険」のみ存在する場合どういった問題が生じるか考える。 <p>→お金がない人は無保険者になり、必要な医療サービスを受けられない可能性がある。</p> <p>→国民誰もが必要な医療サービスを受けられるということは個々人が生活を送る上で重要である。また、人々が生活していく上での安心感を育み、民生の安定につながり、社会全体にとっても重要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民間保険会社 医療保険商品の年齢別月額保険料表など ・平成24年版厚生労働白書 <p>https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/12/dl/1-03.pdf</p>	

			<p><狙い></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公的医療保険が極めて大切な制度であることを理解してもらおう。 		
まとめ(5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国民皆保険制度の必要性 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国民皆保険制度の必要性を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誰でも年をとるし、現在の健康状況、年齢に関係なく、いつでも予期しないライフイベントに直面することがあるため、公的医療保険制度が極めて大切であることに気付かせる。 		

公的医療保険制度を題材としたモデル授業②（案）（2時間目）

指導過程	学習内容	学習活動	学習支援 (指導上の留意点)	資料など	教材
導入 (10分)	・ 国民皆保険制度の重要性	・ 国民皆保険である必要性について考える。	<ul style="list-style-type: none"> 各年齢階級における医療費を個人で負担できるかを考えさせる。 (高齢になるにつれ、医療費は増大していく傾向にあること。一方、若いうちも医療費はかかっていること。) 国民皆保険制度では所得や個人が抱えるリスクを問わず、いつでも、だれでも医療が受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯医療費 https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/000688664.pdf 	
展開 ① (5分)	・ 前回の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 公的医療保険制度が極めて大切であることを振り返る。 少子高齢化における医療費の増大について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 上記で取り上げたように、高齢になるにつれ、一人当たりの医療費が増大する傾向にあることを取り上げる。少子高齢化の進行により、日本全体の医療費も年々増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度 国民医療費の概況 (図1) https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-iryohi/18/dl/kekka.pdf 	
展開 ② (15分)	・ 日本の公的医療保険制度の課題	・ 高額な医療を公的な保険の対象とすることについて	<ul style="list-style-type: none"> 現在、画期的な新薬として、数千万円するような新薬も登場しているが、そういった高額な新薬を保険適用することについて、どう考えるか。 <p><狙い> 限られた財源の中で、必要な医療サービスを提供する</p>		

			ことの難しさを理解する。		
展開 ③ (10 分)	・ 公的医療保険制度の課題 に対して の対応	・ オープンクエスチョン 医療費負担軽減にインセン ティブをもたせるた め、健康な人に保険料を 軽減する仕組みを導入し たらどのような問題が生 じるか。	・ 日本の医療保険制度の持 続可能性のため、とりう る対応方策について議 論。 <狙い> 少子高齢化の進行に伴い、 医療費の抑制のためには何 らかの対応が必要。人々に 新たな対応を求めるとき は、自分とは異なる、様々 な立場の方が納得できるも のにする必要があることを 理解する。	・	
まと め (3 分)	・ まとめ	・ 公的医療保険制度の課 題について理解する。	・ これまでの学習を踏ま え、公的医療保険制度の 課題を理解し、当事者意 識をもって考えていく必 要があることを伝える。		